

自転車駐車場管理棟機械警備委託(長期継続)仕様書

第1条 目 的

本業務は、警備物件に関する事故発生予防・監視、事故発生時の所定の連絡先への通報・連絡等警備業務、建物及びこれに附帯する物件の保全を図るため、火災、盗難等の事故の発生予防を行うことを目的とする。

第2条 警備物件

西千葉駅第1自転車駐車場管理棟外25箇所

第3条 任 務

- (1) 火災、盗難及び不法行為等の異常事態の監視と対応
- (2) 事故発生時における所定の連絡先への通報及び連絡
- (3) 月ごとの警備実施状況の報告

第4条 物件所在地

- (1) 西千葉駅第1自転車駐車場(千葉市中央区春日2丁目地内)
- (2) 千葉駅北口第3自転車駐車場(千葉市中央区弁天2丁目地内)
- (3) 本千葉駅第1自転車駐車場(千葉市中央区港町地内)
- (4) 蘇我駅第5自転車駐車場(千葉市中央区南町2丁目地内)
- (5) 浜野駅第3自転車駐車場(千葉市中央区村田町地内)
- (6) 千葉みなと駅第3自転車駐車場(千葉市中央区中央港1丁目地内)
- (7) 千葉寺駅第3自転車駐車場(千葉市中央区千葉寺町内)
- (8) 大森台駅第1自転車駐車場(千葉市中央区宮崎町内)
- (9) 幕張本郷駅第1自転車駐車場(千葉市花見川区幕張本郷2丁目地内)
- (10) 幕張駅第6自転車駐車場(千葉市花見川区幕張町5丁目地内)
- (11) 新検見川駅第6自転車駐車場(千葉市花見川区花園5丁目地内)
- (12) 新検見川駅第10自転車駐車場(千葉市花見川区南花園2丁目地内)
- (13) 稲毛駅第1自転車駐車場(千葉市稲毛区稲毛東4丁目地内)
- (14) 稲毛駅第2自転車駐車場(千葉市稲毛区稲毛東3丁目地内)
- (15) 京成稲毛駅第1自転車駐車場(千葉市稲毛区稲毛3丁目地内)
- (16) スポーツセンター駅第1自転車駐車場(千葉市稲毛区天台6丁目地内)
- (17) 都賀駅第3自転車駐車場(千葉市若葉区都賀3丁目地内)
- (18) 千城台駅第1自転車駐車場(千葉市若葉区千城台北3丁目地内)
- (19) 鎌取駅第4自転車駐車場(千葉市緑区おゆみ野3丁目地内)
- (20) 誉田駅第4自転車駐車場(千葉市緑区誉田町2丁目地内)
- (21) 土気駅第1自転車駐車場(千葉市緑区土気町地内)
- (22) 土気駅第2自転車駐車場(千葉市緑区あすみが丘1丁目地内)
- (23) おゆみ野駅第1自転車駐車場(千葉市緑区おゆみ野南3丁目地内)

- (24) 海浜幕張駅第2自転車駐車場(千葉市美浜区ひび野2丁目地内)
- (25) 検見川浜駅第1自転車駐車場(千葉市美浜区磯辺5丁目地内)
- (26) 稲毛海岸駅第1自転車駐車場(千葉市美浜区高洲3丁目地内)

第5条 警備開始時期

- (1) 警備は、令和○年○月○日より開始する。
- (2) 止むを得ない事由により、前号による警備開始期日に警備機器の設置ができない場合、機械警備を開始するまでの間は、警備物件等に監視センターもしくは巡回機動隊のフリーダイヤルの電話番号等の明示、若しくは現地に常時人員を配置し、自転車駐車場利用者からの対応要請に対して 24 時間人的な対応を実施すること。なお、詳細については自転車政策課と協議すること。

第6条 警備方法

本委託業務を執行するにあたっては、警備業法(昭和47年法律第117号)に基づく機械警備の方法によるものとする。ただし、故障等により機器が正常に作動しない場合は、機器が正常に動作するまでの間は、警備物件等に監視センターもしくは巡回機動隊のフリーダイヤルの電話番号等の明示、若しくは現地に常時人員を配置し、自転車駐車場利用者からの対応要請に対して24時間人的な対応を実施すること。なお、詳細については自転車政策課と協議すること。

第7条 警備実施時間

- (1) 自転車駐車場管理棟機械警備

月曜日から金曜日：午後6時から翌日午前7時まで

土曜日：午後6時から午後12時まで

日曜日・休日、年末年始(12月29日から翌年1月3日)：24時間

- (2) 前号の時間内において、警備対象が無人の状態となり、発注者からセット(警備開始)の信号を受信したときに警備を開始し、発注者から解除(警備終了)の信号を受信したとき警備を終了する。
- (3) 火災については、委託期間の全ての時間とする。

第8条 警備仕様

- (1) 警備装置

ア 警備対象物件で発生した異常事態を管制センターに自動的に通報する。

イ 警備に必要な適合機器の配置及び種類、数量は別添機器配置図面による。

- (2) 管制センター

警報受信装置(センターマシーン)を常時監視するとともに、巡回機動隊(パトロール隊)との連絡を保持する。

- (3) 巡回機動隊(パトロール隊)

管制センターと連絡を保持し、警備対象物件の異常事態に備える。

第9条 警備対象における取扱い

(1) 発注者における取扱い

- ア 発注者の最終退出者は、防火、防犯その他事故防止に必要な措置を行い、確認ランプで各警備装置の正常な作動状態を確認する。
- イ 最終退出者は、退出口を施錠した後、設置したリモートコントロールボックスのランプを確認し、警備開始の状態にセットする。

(2) 受注者における取扱い

- ア 管制センターは、発注者の最終退出者のリモートコントロールボックスの操作により自動的に表示されるセット(警備開始)の信号を確認し、警備を開始する。
- イ 管制センターは22時を過ぎても警備開始の信号を受信しないときは、発注者における最終退出者の確認をしなければならない。

第10条 警備時間中における発注者の出入り

- (1) 発注者の臨時の入出者は、リモートコントロールボックスを確実に警備解除の状態にした後入出し、以後発注者の責任において処理するものとする。
- (2) 発注者の臨時入退出中の警備は、発注者の責任において実施する。

第11条 警備終了時の取扱い

(1) 発注者における取扱い

発注者の最初の入室者は、必ず入室前にリモートコントロールボックスの操作により警備を解除する。

(2) 受注者における取扱い

管制センターは、発注者の最初のリモートコントロールボックスの操作により自動的に表示される警備解除の信号を確認し、警備を終了する。

第12条 異常事態時における受注者の対応

- (1) 警報受信装置により発注者の警備対象に異常が発生したことを認知したとき、受注者は巡回機動隊を速やかに派遣し、異常事態を確認するとともに事態の拡大防止に努める。
- (2) 警備物件に到着した巡回機動隊員は、異常事態について確認後、監視センターへ状況を連絡し、必要に応じ所定の連絡先に連絡する。
- (3) 予め定められた発注者の責任者又は緊急連絡先へ連絡する。

第13条 事故報告

事故発生の際は、速やかに電話もしくは口頭で報告するとともに、後日書面をもって報告する。

第14条 警備機器の設置等

- (1) 警備機器の電源及び通信回線については、それぞれ発注者が指定する分電盤・保安機への接続を受注者の負担により実施する。
- (2) 委託業務執行上必要と認められる警備機器及びこれに附帯する一切の設備(以下「警備機器」という。)については、発注者の承認を受け受注者が警備開始の前日までに設置する。この場合において、当該機器の費用や設置費用その他一切の経費は受注者の負担とする。
- (3) 警備機器設置場所
警備機器の設置場所は、指定した自転車駐車場管理棟の施設内とし、詳細は別添機器配置図面による。
- (4) リモートコントロールボックスの設置場所
管理棟の入退室場所の付近の外壁等に設置すること。ただし、設置が困難な事由がある場合には、発注者の承諾を受け、最適な場所に設置すること。

第15条 警備機器の保守点検

設置された警備機器の機能保持については、受注者が適宜保守・点検を行う。

第16条 契約期間満了後の警備機器の撤去

契約期間終了までに本案件に使用した警備機器を撤去し、原形復旧すること。この場合において撤去費用やその他一切の経費は受注者の負担とする。また、警備機器の撤去を行い、契約期間が終了するまでの間は、警備物件等に監視センターもしくは巡回機動隊のフリーダイヤルの電話番号等の明示、若しくは現地に常時人員を配置し、自転車駐車場利用者からの対応要請に対して 24 時間人的な対応を実施すること。なお、詳細については自転車政策課と協議すること。

第17条 機器設置及び撤去時の業者間の相互協力

機器設置及び撤去等の作業期間中に他の業者と作業期間が重なる場合は、相互に連絡を取り、本業務に影響が出ないようにすること。

第18条 通信回線

機械警備に必要な通信回線については受注者が用意し、通信費用は受注者が負担するものとする。

第19条 業務実施計画の内容

委託契約書第3条における作業計画書は次のものを添付した「委託業務実施計画書」とする。

- (1) 業務概要書(契約内容等)
- (2) 業務実施方法、安全対策における計画
- (3) 事故・火災・災害、故障、その他異常発生時の各々の連絡系統図
- (4) 警備物件及び警備機器の配置図

- (5) 警備機器の設置状況の写真
- (6) その他必要なもの

第20条 緊急連絡先の指定

- (1) 発注者は予め緊急連絡先を指定し、その名簿を受注者に交付する。
- (2) 緊急連絡先に変更があるときは、遅滞なく変更した名簿を受注者に交付する。
- (3) 受注者は、上記2号により緊急連絡先名簿を受け取ったときは、速やかに連絡系統図を作成し、発注者に提出すること。

第21条 鍵の預託

警備実施に必要な鍵は、発注者受注者相互に預託し、各々で厳重に取り扱い保管する。

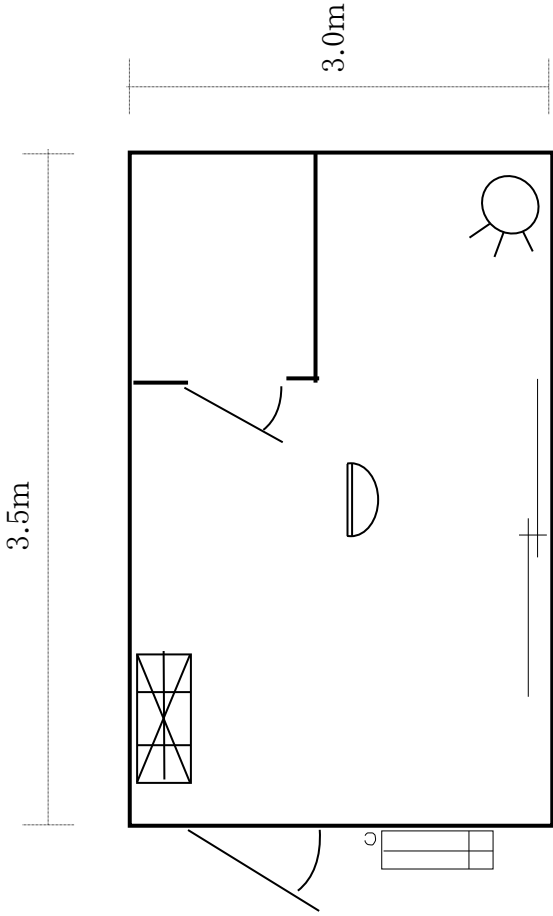
第22条 委託料の支払等

委託契約書第22条に基づく発注者の委託料の支払は四半期毎に行うものとし、支払額は、別紙支払い予定額内訳表のとおりとする。

第23条 その他

- (1) 契約書及び仕様書に定めのない事項については、発注者受注者協議の上決定する。
- (2) この契約は、受注者・発注者双方いずれにもこの契約を終了させる意思がないとき、同一の条件において委託期間満了の日まで契約を継続する。ただし、この契約を締結した会計年度の翌年度以降において、発注者の各会計年度の当該委託料が措置されない場合は、変更契約の締結又は契約の解除を行う。
- (3) (2)ただし書きの場合は、この契約を変更又は解除しようとする会計年度開始日の2か月前までに、相手方に通知しなければならない。
- (4) (2)ただし書きによる契約の変更又は解除により、受注者が損害を受けることがあっても、発注者はその損害賠償責任を負わないものとする。

自転車保管場管理棟 機器配置図 (標準仕様による)



記 号	品 名	1施設当りの設置数	管理棟箇所数
	送信機	1	1
	カードリーダー	1	1
	熱線感知器	1	1
	火災感知器	1	1

※建物のサイズ及び配置は各施設ともにより異なる。